

第1回大野市文化活動の環境づくり評価委員会 議事録

●日時 令和8年5月7日(木) 午後2時～4時50分

●会場 学びの里「めいりん」ランチルーム

1 開会(部長)

2 議事

委員長より、本評価委員会について設置要綱第7条に基づいて非公開とすることでよいか委員に確認。なお、議事録は大野市HPで公開することとする。

→委員承認

(1) 評価委員会設置の経緯等について

事務局から資料に基づき説明【資料1】

<意見・質問等>

委員 利用団体への聞き取り調査では29団体が学びの里「めいりん」講堂を利用すると回答している説明があったが、分母は文化会館大ホールを利用した50団体という理解でよいか。

事務局 50団体中29団体が講堂で活動する予定と回答した。

委員 講堂以外の例えば地域の公民館など代替施設の設備や広さ、利用実績の資料があれば参考になる。

事務局 資料提供させていただく。

委員 聞き取り調査の対象となった団体はどのような分野の団体なのか。

事務局 踊りや合唱、バレエ、ダンス、民謡といった団体である。

委員 特に講堂を利用する予定の29団体については、活動内容別の割合などを知りたい。

事務局 実際どのように使われているのか、については活動の様子を参考資料として配布させていただいた。

委員 評価する際に、どのような活動の利用頻度が多くなるのか、が重要となるため必要な情報である。

事務局 資料を用意させていただく。

(2) 評価方法などについて

事務局から資料に基づき説明【資料2】

<意見・質問等>

委員 評価の視点は、現地確認シートと連動しているのか。

事務局 現地確認シート（資料3）では、これまで聴取、把握したニーズを記載しており、その隣に事務局で仮に考えた対応策の例を記載している。本日は、委員の方々に現地を確認していただき、より良い対応方法があればご意見を頂戴し、後日お配りさせていただき評価シートに反映する。

委員 利用頻度の重みづけ（係数）が3となっている。講堂は土曜日に使用する場合には前日の金曜日の日中から予約して準備する方もいるが、そのような使い方が可能なのだろうか。その可否によって利便性が異なり、利用頻度も変わると思うので、評価に考慮するのであれば情報としていただきたい。

委員 金曜日から利用できるのか、また、講堂だけでなく施設内の別のスペースの利用がセットで可能なのか、などはこの後の現地確認で実際に見ながらご検討いただくのがよい。

委員 建物の築年数や改修履歴などの基本情報を提示いただきたい。

事務局 20年以上経過している。また、評価方法については、現地確認していただいた後にもお気づきの点があればご意見を伺いたい。

(3) 現地確認について

事務局から資料に基づき説明【資料3】

その後、講堂へ移動し、現地確認シートに基づき説明

(現地確認終了後)

<意見・質問等>

委員 ステージが揺れるという意見があるが確かに振動を感じる。ステージの床材など仕様が分かる資料があれば原因が分かるかもしれないので図面など情報提供いただきたい。

事務局 承知した。

委員 座席数について、ニーズがあると思うが市民の方はどれくらい

- の水準を想定しているのか。
- 事務局 文化会館（633席）をイメージしてご意見いただいているものと思う。ただし、実際は600席が埋まることは無く、文化会館あり方検討委員会の中では実績等を考慮しても400席程度が妥当ではないかと判断している。
- 委員 施設の予約はどのくらい前から可能なのか。また、講堂を利用する場合、体育館も同時に予約する必要が生じると思うが、改修した場合、改修後の料金はどの程度になるだろうか。
- 事務局 大きなイベントについては利用の半年前から可能である。大きな事業は大抵、市が主催する事業となっているため、使用料は発生しない。団体が利用するケースは少ないと思われる。また、改修後の料金についても改定は想定していない。
- 委員 講堂だけでなく、体育館も同時に借りる必要があって料金が倍になるのであれば利用することを躊躇するのではないだろうか。講堂の隣の音楽室と一緒に借りることはイメージできるが、体育館を同時に借りる必要があるということは通常はイメージしにくい。いずれ対応は考えなければならないかもしれない。
- 事務局 文化協会加盟団体は、利用料が半額になる。これまで文化会館がある中では、体育館利用と講堂利用が重複しないよう事前に調整できているが、今後利用が増えると分からない。
- 委員 体育館の利用頻度は相当あると思うがどうだろうか。
- 事務局 たしかに、イベントや大会もあり、クラブ活動ではバレーボールやバスケットボールなど利用頻度は多い。代替の施設を検討するにあたり、事前の調査では、準備も含めた金土日など3日間連続で利用する活動のこれまでの状況から、おおむね調整可能であると判断している。
- 委員 利用者の方は他の施設も利用するにあたり、規模感や音響設備はどこでも納得するレベルなのだろうか。
- 事務局 メインとしては講堂を利用する希望が多かったので、時期的な調整は必要になると思う。利用できない場合は他の施設を使う、という考え方である。
- 委員 2階のギャラリー席は元々、観客席だったのか。

- 事務局 実際はバックヤードスペースの扱いとなっている。当初は、小さなお子様連れも観覧できるスペースとして想定していたが、結果的にそのような需要はなく、今の形になっている。
- 委員 本日提案された椅子は、どれもステージ下に収まるものだろうか。本来は全ての椅子が収納できて、フラットな床の利用もできる多機能な講堂であるので、全ての椅子を収納することが前提なのか、それとも出しっぱなしで構わないのか、椅子の選定に大きく影響するので確認が必要である。
- 事務局 フラットにして利用する機会は限られている。入学式、卒業式は椅子を収納して児童が教室から椅子を運んで並べている。また、消防法では避難時に椅子が散乱するなどの障害にならないように、原則として床に固定する必要があるが、椅子同士を連結することでクリアしている。本日提示した椅子は全て連結可能な椅子となっている。
- 委員 車椅子利用者への対応はどうなっているのだろうか。
- 事務局 一番後ろの通路部分で観覧いただいている。
- 委員 学校側からの制約等はあるだろうか。
- 事務局 土足で入りたいという意見があるが、構造上、調理室とランチルーム、教室棟を結ぶ動線と玄関から講堂への動線がどうしてもクロスしてしまうため、衛生管理上、難しいと言われている。今後、庁内プロジェクトチームでも確認し、整理したい。
- 委員 学校との複合施設として不審者対策はどのようにしているのだろうか。
- 事務局 進入禁止の看板を設置している。また、玄関入口を職員執務室側に絞ることで、入館者が職員執務室から必ず見える構造になっている。現状、これまで問題は生じていない。

3 その他 特になし

4 閉会（副委員長）